

# 令和4年度 決算報告

9月の町議会定例会で、令和4年度の決算が認定されました。

今回は、令和4年度の主な事業を、総合計画の**7つの基本目標**に基づきご紹介します。

また、斑鳩町の財政状況についてもご紹介します。

【問合せ】政策財政課（☎内線253）

## 1 安全・安心にらせるまちにします

- 消防指令車を更新
- 拡張性・汎用性の高いデジタル防災行政無線システムを構築
- 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている町民や町内事業者への支援を図るため、水道料金の基本料金を一定期間免除
- 河川への雨水の急激な流出を抑制し、浸水被害の軽減を図る貯留施設の整備に向け、測量設計等を実施



消防指令車

## 2 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

- デジタル技術を活用し、町民の質問に対してAIが自動応答するAIチャットボットを導入
- マイナンバーカードを用いて申請を行うことが想定される子育てや介護等の手続きのオンライン化を可能とする申請管理システムを構築
- 斑鳩町町営住宅長寿命化計画に基づき、長田団地B棟の屋根および外壁等改修工事を実施

## 3 子どもの未来が輝くまちにします



保育支援システム

- 目の異常の早期発見・治療につなげるため、3歳児健診に精度の高い屈折検査機器を導入
- 保護者の利便性向上などを図るため、町立保育所に保育支援システムを導入
- 小中学校および幼稚園の和式トイレの洋式化および自動水栓や自動照明への切替など感染症対策を実施
- 物価高騰等に対応するため、小中学校給食費の一定期間無償化や小中学校および幼稚園の給食補助金増額の実施
- 令和6年4月開園予定の幼保連携型認定こども園の整備を支援

## 4

### 誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします

- 集団・個別接種により新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施
- 聴力機能低下により日常生活に支障がある高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成
- 利用者が自ら操作して本の貸出が行える図書館の自動貸出システムを整備
- 町内在住の家族を対象にいかるが溜池ふれあいファミリージョギングを開催



ファミリージョギング

## 5

### つながりを大切にすまにします

- 協働のまちづくり活動提案制度により、住民活動団体の事業に補助金の交付や事業協力を実施
- ふれあい交流センターいきいきの里の空調設備を更新
- 二十歳という人生の節目を迎える未来を担う青年の門出を祝い励ますため、二十歳のつどいを開催
- (仮称) 龍田西地区地域交流館の整備に向け、用地取得や建物の設計を実施

## 6

### 魅力に満ちた活力あるまちにします



和のあかりと未来へのひかり

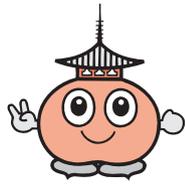
- 聖徳太子を偲び、斑鳩町への誇りと愛着を深めるために、「和のあかりと未来へのひかり」を実施
- 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている町民生活を支援し、地域経済の回復につなげるため、町内店舗で利用できる「斑鳩町生活応援券」を発行
- 本町での創業を促進することで観光および産業の振興を図るため、創業支援員による相談等の創業支援事業を実施
- いかるが溜池周遊道路の来訪者用駐車場を整備

## 7

### 悠久の歴史と文化、自然を大切にすまにします

- いかるがホール小ホールの音響機材等を更新
- 昭和54年に発刊された斑鳩町史について、近年発展のあった事項を記述するとともに、誰にでも読みやすいように編さんし、「新修 斑鳩町史 上巻」を発刊
- 史跡中宮寺跡の活用を促進するため、ゴールデンウィークの時期に文化財関連のイベントを開催し、町民から提供されたこいのぼりを掲揚

令和  
4年度



# 斑鳩町の財政状況

## 一般会計決算

7億2,725万円の黒字

前年度比 ▲6,835万円

▲8.6%

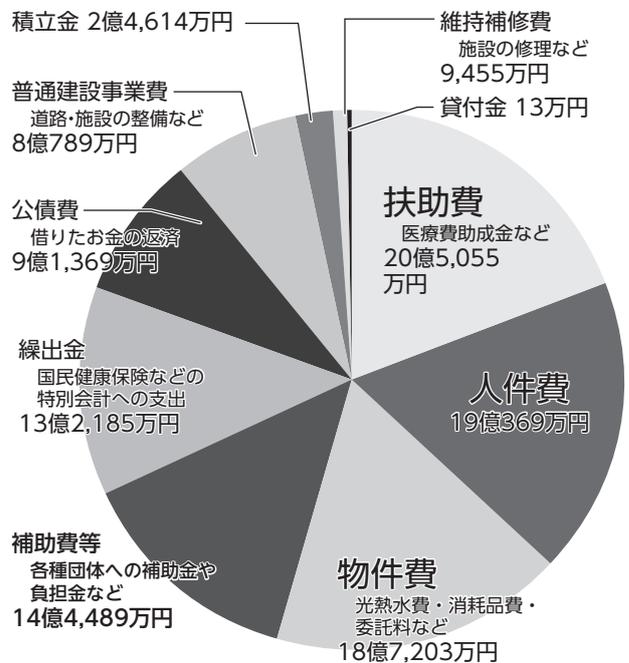
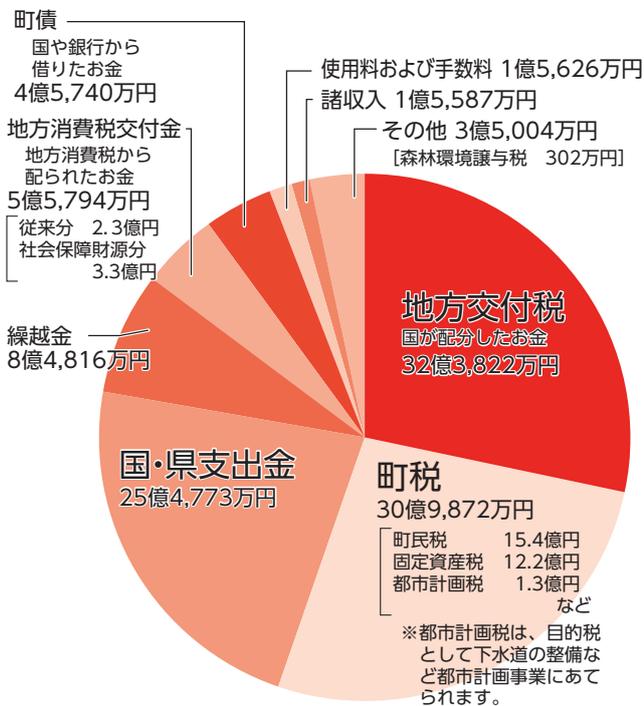
※「歳入」-「歳出」-「翌年度への繰越」

歳入 114億1,034万円

前年度比 1億2,899万円 +1.1%

歳出 106億5,541万円

前年度比 2億2,221万円 +2.1%



## 会計別決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	114億1,034万円	106億5,541万円	7億5,493万円
国民健康保険事業特別会計	28億8,215万円	29億3,357万円	▲5,143万円
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	25億6,983万円	24億6,467万円	1億 517万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	1,332万円	1,073万円	259万円
後期高齢者医療特別会計	5億5,628万円	5億5,621万円	7万円
合計	174億3,193万円	166億2,059万円	8億1,134万円

※表中の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計、差し引きとその内訳が一致しない場合があります。

## 健全化判断比率

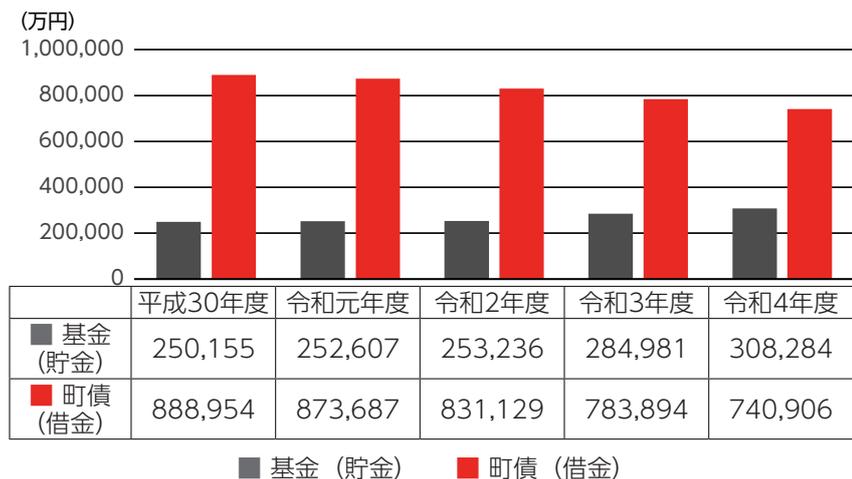
いずれの指標も国の基準を下回り、**財政状況は健全!**

早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画または財政再生計画を策定し、財政再建に取り組む必要があります。斑鳩町ではすべての指標において「早期健全化基準」を大きく下回っています。

今後財政の健全化に努めていきます。

指標	説明	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	標準財政規模に対して、一般会計などの赤字が占める割合	赤字なし	14.17%	20%
連結実質赤字比率	標準財政規模に対して、すべての会計の赤字が占める割合	赤字なし	19.17%	30%
実質公債費比率	標準財政規模に対して、地方債(国や銀行などからの借入金)の1年間の返済額が占める割合	7.8% (前年度比+0.5%)	25%	35%
将来負担比率	標準財政規模に対して、将来負担すべき負債の割合	18.6% (前年度比▲6.3%)	350%	

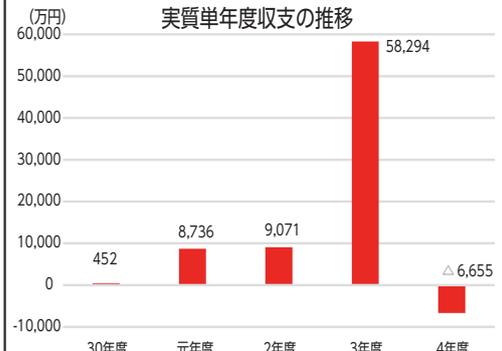
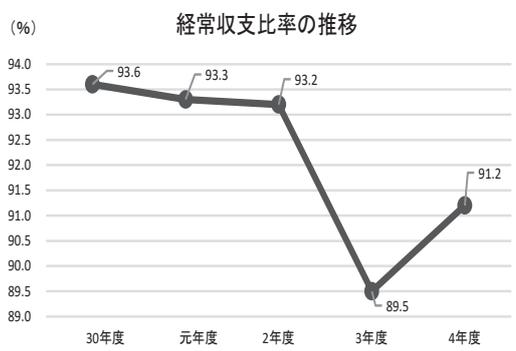
### 基金・町債の推移



### 一般会計の財政指標

基金残高が増加するなか、町債残高は年々大幅に減少しており、平成30年度と比較すると約14億8千万円、単年度平均で約3億7千万円の減少となっています。

また、財政運営の良し悪しを判断する指標として、実質単年度収支と経常収支比率があります。実質単年度収支は、平成30年度以降は4年連続で黒字となりましたが、令和4年度は、令和



**■経常収支比率**  
財政状況の弾力性を示す指標。経常的な一般財源(町税や普通交付税など)に対して、固定的に支出される経費(人件費や扶助費、公債費など)に使われた一般財源が占める割合をあらわす。

**■実質単年度収支**  
その年の収入でその年の支出を賄うことができたかを示す指標。当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた「単年度収支」から、黒字要素である財政調整基金積立金や、赤字要素である積立金取崩額の影響を反映させた収支をあらわす。

3年度の実質収支が大幅に増加したことや物価高騰対策などに取り組んだことにより、赤字となりました。経常収支比率は、平成30年度と比較すると2.4ポイント改善しています。今後も引き続き、各種事業の見直しなどによる経常的経費の縮減や歳入の確保を徹底し、持続可能な財政運営に努めていきます。



# 令和4年度 水道事業会計決算



令和4年度の決算額は、総収益が6億8,371万4,053円、総費用が6億9,839万2,657円、差引き1,467万8,604円(前年度純利益3,420万1,678円)の当期純損失となりました。

## ■ 事業の概要

	令和4年度	令和3年度
総給水戸数	11,553戸	11,496戸
総給水量	3,028,449m <sup>3</sup>	3,056,827m <sup>3</sup>
総有収水量	2,805,197m <sup>3</sup>	2,847,238m <sup>3</sup>
有収率	92.6%	93.1%

県営水道の依存率は100%です。有収率は、給水量に対する料金収入となる水量の割合で、有収率が高いほどムダな水が少ないことになります。(令和3年度全国平均は90.1%)

## ■ 建設改良工事の概要

●下水道工事等の他事業と連携し、配水管の整備を実施しました。(総延長2,614m)

### 《公共下水道事業との連携》

場 所	延 長
目安4丁目、龍田南4丁目、目安北2丁目、龍田西5丁目、法隆寺北2丁目、法隆寺東1丁目	1961m

### 《配水管新設工事》

場 所	延 長
龍田3丁目・龍田南5丁目	102m

### 《老朽管更新工事》

場 所	延 長
興留6丁目、法隆寺西1・2丁目、興留9丁目、大字三井・岡本	551m

配水設備改良費計	231,725千円
----------	-----------

## ■ 経理状況

イ. 損益計算書【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
[1] 水道事業費用	698,392,657	[1] 水道事業収益	683,714,053
(1) 営業費用	679,947,402	(1) 営業収益	541,164,693
(2) 営業外費用	18,445,255	(2) 営業外収益	142,549,360
		[2] 当年度純損失	14,678,604
合 計	698,392,657	合 計	698,392,657

ロ. 貸借対照表【令和5年3月31日現在】

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
[1] 固定資産	5,314,160,955	[3] 固定負債	1,081,940,664
(1) 有形固定資産	5,313,462,455	(1) 企業債	1,081,940,664
(2) 無形固定資産	250,500		
(3) 投資	448,000	[4] 流動負債	249,657,529
		(1) 企業債	95,762,470
		(2) 未払金	133,842,123
[2] 流動資産	641,219,110	(3) 引当金	4,246,000
(1) 現金及び預金	475,319,513	(4) その他	15,806,936
(2) 未収金	160,526,216		
(3) 貯蔵品	5,373,381	[5] 繰延収益	2,308,453,084
		(1) 長期前受金	2,308,453,084
		(資本の部)	
		[6] 資本金	1,673,277,638
		(1) 自己資本金	1,673,277,638
		[7] 剰余金	642,051,150
		(1) 資本剰余金	116,481,293
		(2) 利益剰余金	525,569,857
合 計	5,955,380,065	合 計	5,955,380,065

**令和4年度  
一般会計・各特別会計決算審査  
審査の結果**

令和4年度斑鳩町一般会計および各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査および財産に関する調査の各計数は、関係法令に準拠して調製され、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されているものと認められた。

## ■ 審査の結果

審査に付された健全化判断比率・資金不足比率およびその基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成され、健全化を判断する比率については、問題ないものと認められた。

一般会計・各特別会計決算審査および健全化判断比率等審査の詳細については、町ホームページまたは役場2階情報公開総合窓口をご覧ください。

監査委員室 (☎内線305)



# 令和4年度 下水道事業会計決算



令和4年度の決算額は、総収益が7億1,120万2,172円、総費用が6億9,927万8,821円、差引き1,192万3,351円（前年度純利益775万5,852円）の当期純利益となりました。

## ■ 事業の概要

	令和4年度	令和3年度
計画区域内人口	28,087人	28,174人
供用面積	269ha	260ha
処理区域内人口	19,567人	18,917人
普及率	69.7%	67.1%
年間汚水処理量	1,338,228m <sup>3</sup>	1,303,804m <sup>3</sup>

## ■ 建設改良工事の概要

### ・下水道管路整備工事

工事延長 3,585m  
事業費 398,399千円

### ・奈良県流域下水道建設費負担金

負担額 5,645千円



## ■ 汚水処理量と接続件数の推移

年度	汚水処理量 (m <sup>3</sup> )	接続件数 (件)
H30	1,142,050	4,076
R元	1,203,763	4,302
R2	1,269,864	4,473
R3	1,303,804	4,662
R4	1,338,228	4,824

## ■ 経理状況

イ. 損益計算書【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
[1] 下水道事業費用	699,278,821	[1] 下水道事業収益	711,202,172
(1) 営業費用	578,944,472	(1) 営業収益	161,600,159
(2) 営業外費用	120,324,890	(2) 営業外収益	549,602,013
(3) 特別損失	9,459	(3) 特別利益	0
[2] 当年度純利益	11,923,351		
合計	711,202,172	合計	711,202,172

ロ. 貸借対照表【令和5年3月31日現在】

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
[1] 固定資産	18,547,768,866	[3] 固定負債	7,814,821,633
(1) 有形固定資産	17,210,809,311	(1) 企業債	7,814,821,633
(2) 無形固定資産	1,336,959,555	(2) 他会計借入金	0
[2] 流動資産	309,805,650	[4] 流動負債	666,032,178
(1) 現金及び預金	248,077,653	(1) 企業債	476,261,556
(2) 未収金	61,744,997	(2) 他会計借入金	0
(3) 貸倒引当金	△ 17,000	(3) 未払金	187,013,722
(4) 前払金	0	(4) 預かり金	110,900
		(5) 引当金	2,646,000
		[5] 繰延収益	8,890,500,027
		(1) 長期前受金	8,890,500,027
		(資本の部)	
		[6] 資本金	1,459,548,933
		(1) 自己資本金	1,459,548,933
		[7] 剰余金	26,671,745
		(1) 利益剰余金	26,671,745
合計	18,857,574,516	合計	18,857,574,516

水道事業会計決算審査および下水道事業会計決算審査の詳細については、町ホームページまたは役場2階情報公開総合窓口でご覧ください。

監査委員室 (☎内線305)



令和4年度斑鳩町下水道事業会計決算書類は、関係法令に準拠して作成され、当事業年度の経営成績および当事業年度末の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

## ■ 審査の結果

**令和4年度  
下水道事業会計決算審査**

令和4年度斑鳩町水道事業会計決算書類は、関係法令に準拠して作成され、当事業年度の経営成績および当事業年度末の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

## ■ 審査の結果

**令和4年度  
水道事業会計決算審査**

## 令和4年度 国民健康保険 特別会計決算 状況



問合せ  
国保医療課  
(☎内線114)

### ● 国保の財政状況

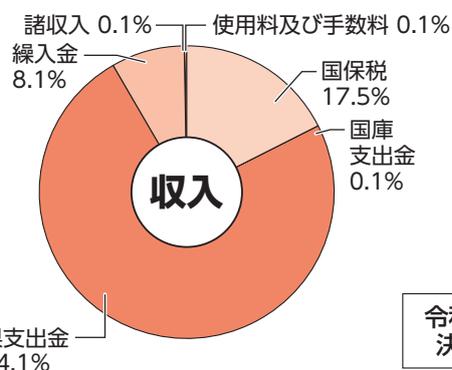
国保の財源は、被保険者（世帯主）が納付する国保税や県の交付金などから成り立っています。国保税は、収入全体の約17.5%を占めており、国保運営には欠かせないものです。

令和4年度決算では、前年度繰上充用金（累積赤字分）が歳出の約2.3%を占め、5,143万円の赤字となりました。なお、単年度収支では、約1,606万円の黒字となりましたが、引き続き累積赤字が大きくなり、厳しい財政状況が続いています。

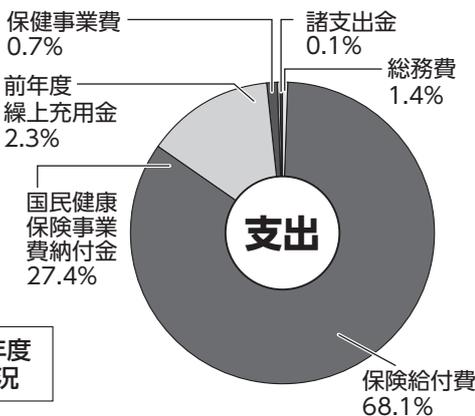
### ● 今後の国保財政

平成30年度から奈良県も保険者となり、県単位で国保を運営しています。医療費は全額県が負担し、その財源として県内市町村は県に納付金を納付しています。納付金は被保険者が納めた国民健康保険税でまかな

歳入 28億8,215万円



歳出 29億3,357万円



令和4年度  
決算状況

われま。令和6年度には、県内市町村で保険料率の統一化が予定されており、今後も適切な料率の設定や効率的な事業の実施などを行い、安定的な財政運営に努めていきます。

### 1人あたりの医療費の推移



令和2年度の一人あたり医療費は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していましたが、令和3年度、令和4年度の医療費は増加傾向にあり、被保険者の高齢化や医療の高度化などにより、今後も医療費は増加していくことが予想されます。被保険者一人ひとりが、医療費の増加の抑制のために、健康管理や適切な医療受診など自分にできることから取り組みをお願いします。

### ● 医療費の状況

### ● 国保財政の健全化に向けた取り組み(収納体制の強化)

税負担の公平性を確保するため、特別な事情もなく保険税を滞納している滞納者には、財産の差し押さえなどの滞納処分を含め、厳正に対応しています。

一方、失業、多重債務などの事情により国保税を納付することが困難な人については、生活状況などを考慮して対応しています。相談を希望する人は、国保医療課へご連絡ください。

### 医療費の負担を減らす取り組み

- ① 同じ病気で、複数の医療機関を受診する「重複受診」はやめましょう。
- ② 日ごろから相談できるかかりつけ医やかかりつけ薬局を持ちましょう。
- ③ ジェネリック医薬品を利用しましょう。
- ④ 生活習慣病の予防や早期発見のため、健康診査を受けましょう。